



きずな

第81号

令和8年第1回臨時会
令和8年第1回定例会

●発行／合志市議会
●編集／議会広報調査特別委員会
●〒861-1195 熊本県合志市竹迫2140
●TEL 096-248-2038
FAX 096-248-2047
E-mail:gikai@city.koshi.lg.jp
令和8年4月17日発行

平成18年に旧合志町と旧西合志町がひとつになり、合志市が誕生して20年。
この節目を迎えることができましたのも、市民の皆さまの支えと、先人の皆さまの
ご尽力があったからこそです。心より感謝申し上げます。



この20年、
まちは大きく変わりました。あふれる子どもたちの笑顔、新しい住宅地の広がり、
にぎわいを生む企業の進出。

きずなをつなぐ20年、ひろがる未来



一方で、高齢化社会への対応や災害への備えなど、
新たな課題にも向き合ってきました。

合志市は合併20周年を迎えました

合併は「ゴール」ではなく、よりよい
まちづくりへの「スタート」でした。
そして20周年は、次の未来へ
進むための新たな出発点です。

これからも 安心して暮らせるまち 子どもたちが誇れるまち
世代を超えて支え合えるまち を目指し、市議会としても皆さまと
ともに歩んでまいります。未来へ前進！ 次の10年、20年も、みんなで。

合志市議会一同

合志市議会 第1回臨時会

1月13日 開会

質疑・討論・採決

議案1件

合志市議会 2月定例会の流れ

1月29日

開会

市長より議案について
提案理由の説明

1月30日・2月2日

一般質問

5人の議員による
一般質問にて市政を質す

2月5日

質疑・付託 予算決算常任委員会

議案に対する質疑の後、各所管の委員会へ付託
予算関係事件の質疑の後、各所管の分科会を設置し、分担付託

2月6日・9日・10日

各常任委員会・分科会

各常任委員会・分科会
にて議案の審査

2月16日

予算決算常任委員会

分科会長報告、自由討議
による質疑と総括質疑事
項選定

2月20日

予算決算常任委員会

総括質疑、討論・表決

2月25日

討論・採決 閉会

各委員会からの審査報告の
後、討論・採決
(結果は8面の賛否表参照)

もくじ

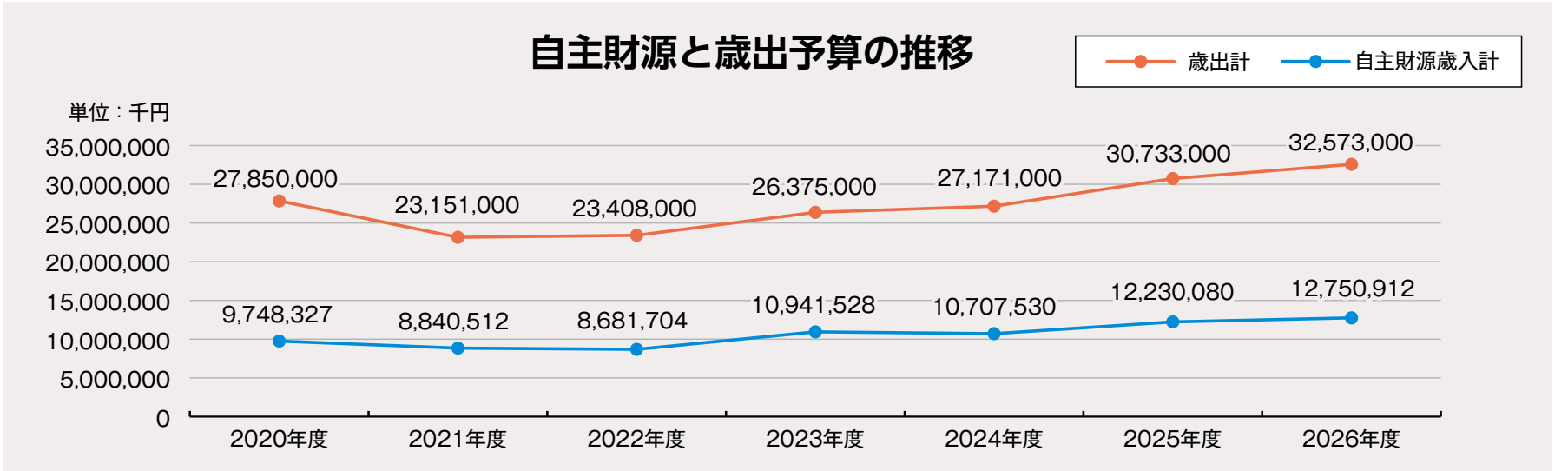
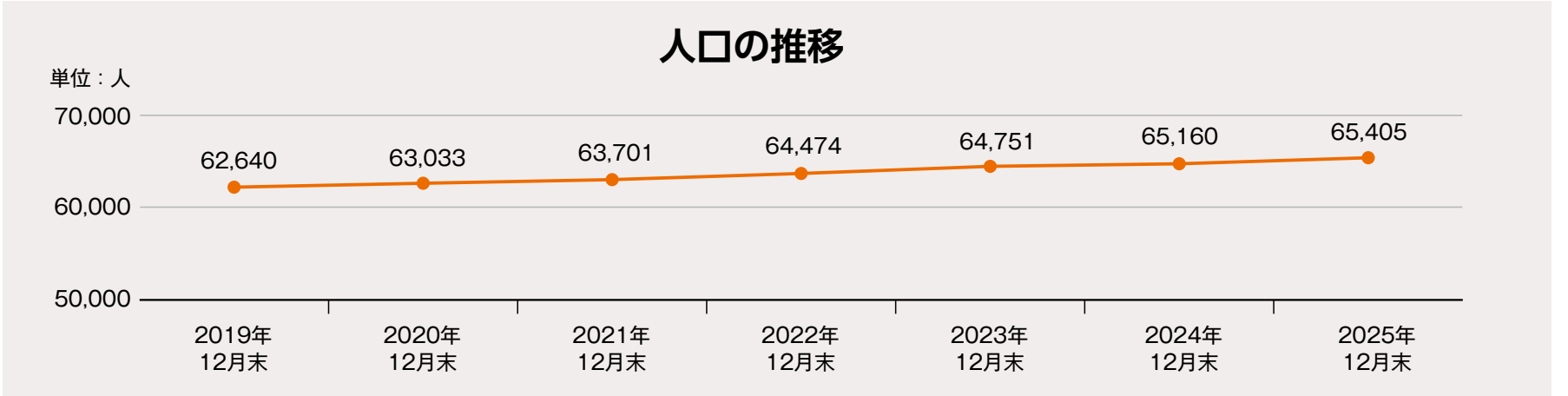
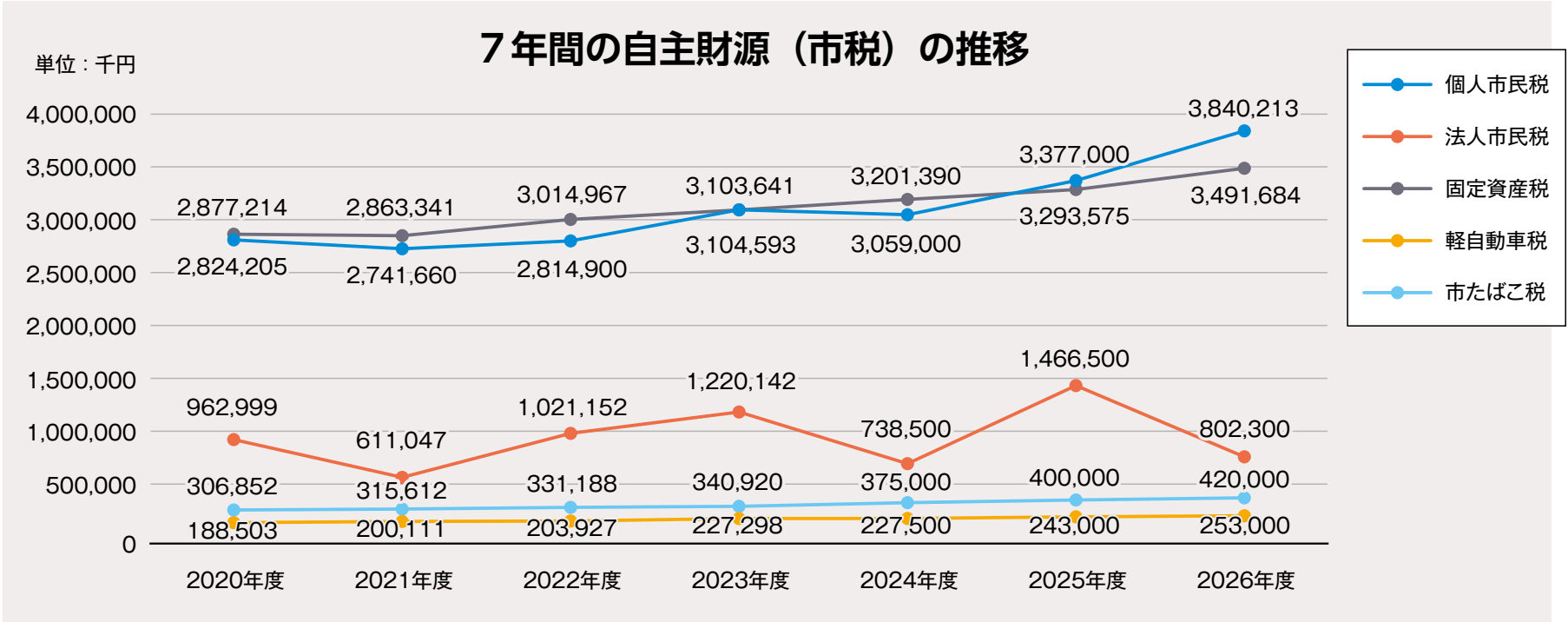
CONTENTS

- 表紙、第1回臨時会、2月定例会の流れ…… 1
- 令和8年度一般会計予算、
令和7年度一般会計補正予算 …… 2、3
- 条例制定、条例改正、
常任委員会・分科会の審査概要 …… 4、5
- 一般質問、熊本市議会議員研修会、
表敬訪問 …… 6
- 行政視察、消防出初式、きずなの歴史 …… 7
- 賛否一覧表、次回定例会日程、編集後記等 … 8

令和8年度 一般会計予算325億

歳入

				令和7年度		令和8年度		増減額 (千円)
				予算額(千円)	構成率(%)	予算額(千円)	構成率(%)	
自主財源	市税	市民税	個人	3,377,000	11.0	3,840,213	11.8	463,213
			法人	1,466,500	4.8	802,300	2.5	-664,200
		固定資産税		3,293,575	10.7	3,491,684	10.7	198,109
		軽自動車税		243,000	0.8	253,000	0.8	10,000
		市たばこ税		400,000	1.3	420,000	1.3	20,000
	そ の 他		3,450,005	11.2	3,943,715	12.1	493,710	
	小 計		12,230,080	39.8	12,750,912	39.1	520,832	
依存財源	国庫支出金			6,837,909	22.2	7,527,106	23.1	689,197
	地方交付金			4,950,000	16.1	4,950,000	15.2	0
	県 支 出 金			3,157,800	10.3	3,225,818	9.9	68,018
	そ の 他			1,823,511	5.9	1,811,364	5.6	-12,147
	市 債			1,733,700	5.6	2,307,800	7.1	574,100
	小 計			18,502,920	60.2	19,822,088	60.9	1,319,168
合 計				30,733,000	100.0	32,573,000	100.0	1,840,000



7,300万円を可決しました

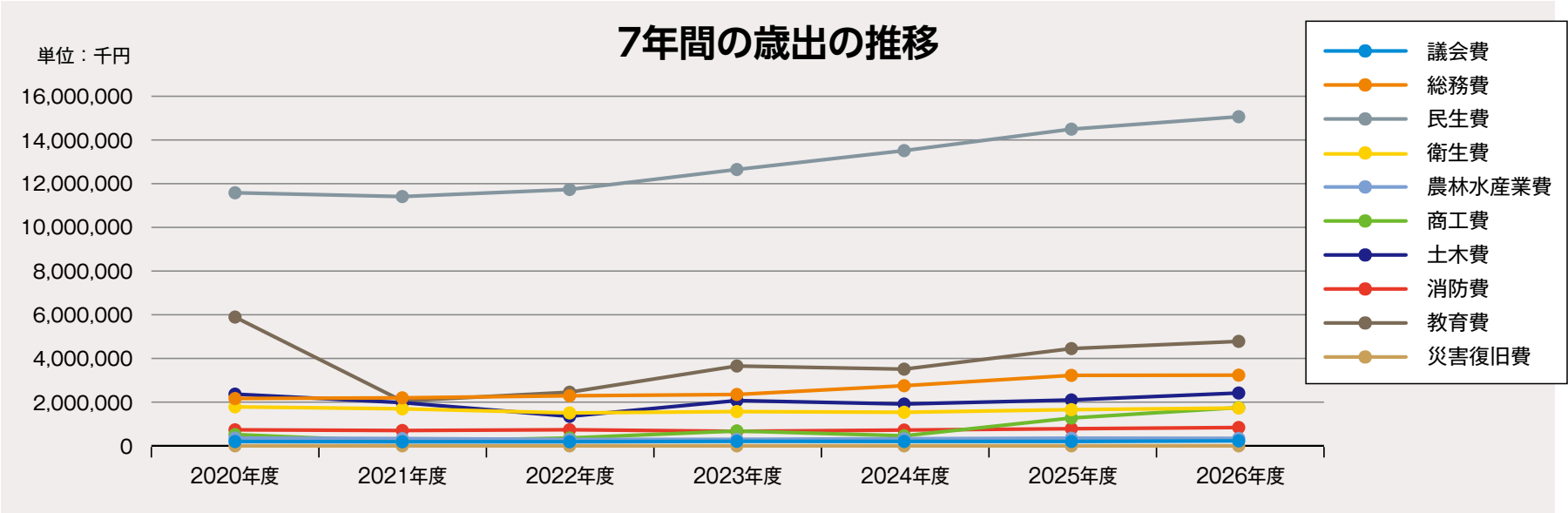
令和8年度当初予算は、市長選挙が3月15日に予定されていたため、政策的予算を留保し、最低限必要な経費で編成する骨格予算ですが、福祉関係予算の民生費や商工費の伸びにより前年度当初予算を上回る規模となりました。

歳 出

	令和7年度		令和8年度		増減額 (千円)
	予算額 (千円)	構成率 (%)	予算額 (千円)	構成率 (%)	
議 会 費	199,885	0.7	226,245	0.7	26,360
総 務 費	3,227,970	10.5	3,237,036	9.9	9,066
民 生 費	14,507,149	47.2	15,076,783	46.3	569,634
衛 生 費	1,657,017	5.4	1,731,438	5.3	74,421
農林水産業費	350,909	1.1	341,274	1.0	-9,635
商 工 費	1,274,267	4.1	1,750,692	5.4	476,425
土 木 費	2,101,460	6.8	2,419,210	7.4	317,750
消 防 費	784,367	2.6	839,505	2.6	55,138
教 育 費	4,454,539	14.5	4,785,237	14.7	330,698
災 害 復 旧 費	200	0.0	100	0.0	-100
公 債 費	2,155,237	7.0	2,145,480	6.6	-9,757
予 備 費	20,000	0.1	20,000	0.1	0
合 計	30,733,000	100.0	32,573,000	100.0	1,840,000

歳出のポイント

商工費においては総合健康センター施設維持管理事業費や企業誘致推進費、土木費においては社会資本整備総合交付金事業、教育費においては体育施設維持管理運営事業の伸びが主なものです。



令和7年度 合志市一般会計補正予算

補正額

- (第9号) 11億100万1千円【増額】
- (第10号) 2,673万4千円【増額】
- (第11号) 12億6,842万円【増額】
- (第12号) 8億5,853万4千円【増額】

総 額

354億1,975万1千円

第9号

学校給食運営事業

5,530万3千円【増額】

学校給食費の支援により、物価高騰に伴う令和8年度の保護者負担の軽減を図るため。



第12号

社会資本整備総合交付金事業等

6億2,049万1千円【増額】

交付額決定に伴い、竹迫第2テクノ線・上群中林線の4車線化に係る経費



条例制定

可決

●議案第3号 合志市地域振興基金条例

市民の連携強化及び地域振興を図るための事業に要する経費に充てるため、基金の創設について定めるもの

●議案第4号 合志市企業版ふるさと納税地方創生基金条例

まち・ひと・しごと創生寄付活用事業に要する経費の財源に充てるため、基金の創設について定めるもの

条例改正

可決・承認

他1件

●議案第10号 合志市放課後児童クラブ施設条例の一部を改正する条例

放課後児童クラブがなかった合志小学校に放課後児童クラブ施設を新設することに伴い条例の一部を改正するもの

●議案第13号 合志市立小・中学校施設使用料徴収条例の一部を改正する条例

南ヶ丘小学校、西合志第一小学校、西合志南小学校の体育館に冷暖房が設置され、その使用料について定めるもの

●議案第14号 合志市立学校運動場夜間照明施設条例の一部を改正する条例

合志中学校グラウンドに夜間照明施設を整備することに伴い、当該学校施設開放時の夜間使用料について定めるもの

他7件

予算決算常任委員会・分科会の審査概要

予算決算

【審査日程】

令和8年2月5日
全体会

質疑および分科会（総務
分科会・文教経済分科
会・健康福祉分科会）を
設置し、付託事件の審査
を行なうこととした。

令和8年2月6日
～2月10日
分科会

3分科会による審査を行
なった。

令和8年2月16日
全体会

分科会長報告を行ない、
自由討議を経て総括質疑
事項を決定した。

令和8年2月20日
全体会

執行部に対する総括質疑
の後、討論、表決を行
なった。



(1) 条例改正に伴う階級制度及び人件費について

- 問 ① 新設される「給料表8級」の定義と位置付けについて
② 公平性の担保と財政的影響について
③ 制度の持続可能性と説明責任について

答 給料表8級は、部長級以上のうち特に高度な専門性と重い
職責を担う職務に対する等級で、本市では「政策監」「総
務部長」を想定している。

導入目的は、幹部職員の育成・確保、組織のマネジメン
ト力強化、職員のキャリアパス明確化による意欲向上であり、
昇格にあたっては、勤務経験期間のほか人事評価を用いた
客観的な評価にて選考していく。また、本制度は全職員の
キャリア整備と組織活性化を目指すものであるため、職員
間での不公平感防止のため評価基準を明確化した上で運用
し、8級職員2名分の人件費予算の増となることについて
も、財政部局と共有しながら管理していく。

今期定例会における条例成立後、関係規則を改正して昇格
基準等を明文化し、透明性を確保した上で、人事行政運営状
況の公表等による情報公開を通じ説明責任を果たしていく。

(2) 予算の前提となる整備計画について

- 問 ① 公園施設長寿命化計画の策定過程や経緯の確認、及び説
明や公表方法について
② この計画に基づく今後の具体的な内容について
③ 予算の根拠となる整備計画に基づく審議の在り方について

答 「合志市公園施設長寿命化計画」は、社会資本整備総合交
付金の申請要件に沿って策定したものであり、令和6年度
からの10年間にわたる計画である。本計画は、老朽化が進
む公園施設の計画的改修により維持管理費の抑制と安全性
の確保、長寿命化を図ることを目的とし、2ヘクタール以
上の市内6公園についての改修時期や概算費用等を取りま
とめたものであり、担当部署での技術的基礎資料として取
り扱ってきた。

このことから、これまで議会への報告や公表などは行なっ
ていなかったが、今後は予算審議の根拠資料としての重要
性を踏まえ、具体的な計画資料として提示・説明を行なっ
ていく。

(3) 事業担当の在り方について

- 問 ① 事業所管の考え方について
② 事業所管体制の振り分けの再確認の必要性について

答 事業所管については、各事業の目的や機能、専門性、継続
性などを総合的に勘案し、最も適切な部署を配置している。
また、法令に基づく責任の明確化や、複数分野にまたがる
事業では関係部署との連携も重視している。
今後の社会情勢や市民ニーズの変化を踏まえ、事業目的や
効果を最大化する観点から、組織機構の見直しや機能連携
の強化を含め、所管体制の妥当性について継続的に検証し、
必要に応じて再編や見直しを行なっていく考えである。

(4) 市が負担する一般不妊治療助成について

- 問 ① 不妊治療の現状について
② 一般不妊治療助成の目的及び市が負担することとなった
経緯について
③ 継続的な支援体制について

答 不妊治療を大別すると、人工授精等の「一般不妊治療」と、
体外受精等の「生殖補助医療」とに分かれている。いずれ
も令和4年4月から保険適用となったものの、複数回治療
の必要性や保険適用回数制限などの制約がある。本市では
県の交付金事業を活用し、不妊に悩む夫婦の経済的負担軽
減を目的に、令和元年から人工授精費用の助成を開始して
おり、保険適用化などの状況変化に応じ、助成制度の見直
しなどを行ってきた。この度、一般不妊治療の人工授精
に対する県補助が翌年度廃止されるとの報告を受けたこと
から、助成継続の必要性について検討を行ない、今回、市
単独での助成を実施することとした。また、新たに、生殖
補助医療と併用して実施される先進医療に対して、県交付
金を活用した助成を開始していく。

不妊に悩む夫婦への安心感につながる支援として、今後は
利用者アンケートや他自治体・国の動向を踏まえ、実効性
のある支援体制について検討を重ねていく。

委員長 西島 隆博
副委員長 青山 隆幸
委員 議長を除く全議員

常任委員会・分科会の審査概要

総務

委員長 副委員長
委員 委員 委員 委員

後藤 祐二
大塚 薫一
坂本 武人
齋藤 修一
辻大 二郎

【常任委員会】 合志市犯罪被害者等支援条例

安全安心課

- 問 被害者等からの相談件数及び市の相談窓口は。また、警察等の他機関との連携の現状は。
- 答 相談窓口は安全安心課であるが、現在まで相談はない。熊本県が開催する「支援に関する会議」等に参加し警察等との連携を図っている。

【分科会】 令和7年度合志市一般会計補正予算（11号）

企画課

- 問 執行残による予算減額が多額な要因は。
- 答 デジタル基盤改革関連業務委託は、システム移行期間が令和9年度まで延伸になったことに伴う執行残であり、コミュニティバスの減額については、当初予算計上の基となった見積額に対する入札減である。

令和8年度合志市一般会計予算

税務課

- 問 会計年度任用職員の任用について、専門性も高く個人情報も扱うことから、退職職員の採用や正職員の増員等の考えはあるのか。
- 答 退職者に声掛けは行なったが採用には至らなかった。正職員の採用は引き続き人事と協議していく。

環境衛生課

- 問 ごみ収集業務委託を含め、業務委託を行なう場合について単価を定める基準はあるか。
- 答 補助事業を行なう場合は国や県が定める基準を採用するが、ごみ収集においては定められた基準はなく、労務単価のみ普通作業員などの決められた単価を採用している。

文教経済

委員長 副委員長
委員 委員 委員 委員

辻藍 中元 健司
吉永 欣也
上田 幸一郎
濱元 雄二
澤田 二

【常任委員会】 令和8年度合志市水道事業会計予算

水道課

- 問 井戸掘削調査の内容と目的は。
- 答 口径の小さな試掘を深さ100m程行ない、水質と水量の検査を行なうものである。調査場所は、有機フッ素化合物の検出がなかった学園大学グラウンドの井戸水の付近と、御代志配水池付近の2箇所を予定している。木原野配水池で国が示す暫定目標値以下ではあるもののPFOS・PFOAが検出されているため、他に良質な水が出る井戸がないかの調査と併せて老朽化している既存井戸の更新対策も兼ねる。

令和8年度合志市下水道事業会計予算

下水道課

- 問 下水道管渠テレビカメラ調査業務の詳細と対応は。
- 答 主な調査内容は、管内の破損状況やズレの有無などである。調査の結果、緊急性が高いものについては補正や予備費での対応を考えている。

【分科会】 令和8年度合志市一般会計予算

学校教育課

- 問 小中学校の電気料の予算要求額が増額となっているが、これは体育館に空調設備を導入したことによるものか。
- 答 体育館の空調設備の稼働を見越した分だけでなく、近年の猛暑等により空調の稼働時間が年々増えていることも考慮した上での予算要求となっている。

2月9日 現地調査



合志市恵楓園運動公園グラウンド

健康福祉

委員長 副委員長
委員 委員 委員 委員

永寛 和織 香子
村上 恵子
来海 隆博
西島 幸洋
青山 正洋
犬童 正洋

【常任委員会】 令和8年度合志市介護保険特別会計予算

高齢者支援課

- 問 一般介護予防事業費の増額要因である『筋活教室』の拡充内容と、その効果は。
- 答 当該教室はトレーニングジム等の機器を利用して運動を行なうもので、令和7年度は定員20名で実施したところ2倍近い応募があり好評であった。そのため、令和8年度は教室数を2回（2クール）に増やして実施する。効果としては、運動習慣の定着を図る機会となっている。

【分科会】 令和7年度合志市一般会計補正予算（第11号）

こども未来課

- 問 障害児保育事業補助金の事業内容は。
- 答 保育施設が障害児の受入環境を整えるため、保育士の加配を行なった場合において、給付費とは別に補助金を交付する事業である。現在32園中20園で実施、対象のこどもの数は64名となっている。

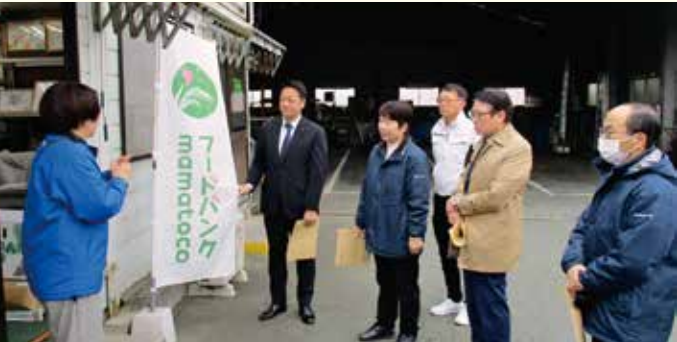
令和8年度合志市一般会計予算

福祉課

- 問 民生委員児童委員の欠員状況は。また、定数を満たすために来年度の取り組みを考えているか。

- 答 定数99名に対して、8名の欠員である。各区の方と意見交換や、民生委員児童委員協議会とPR活動などを引き続き継続していく。

2月10日 現地調査



フードバンクママトコ



大池さつきサロン（大池公民館）

一般質問

各議員の一般質問の様子は、QRコードでインターネット録画をご覧ください。



大塚 薫議員

学校でのデジタル採点システムの導入について

問 教員の働き方改革を進めるうえで、市内小中学校における教員の採点業務の負担をどのように把握しているのか。

答 採点は授業後や時間外に及び、問題作成から成績処理まで多岐にわたり時間的負担に加え、精神的負担も大きい事は把握している。市もICT活用などで教員の負担軽減に取り組んでいる。

問 生徒との関係性の向上にもつながるデジタル採点システム導

入について、現時点でどのような認識をもっているのか。

答 他自治体における導入事例や 効果、課題等を注視するとともに、教員の負担軽減だけでなく、こどもたちの学力向上にもつながらどうか見極めながら総合的に判断していきたい。

その他の質問事項 ・成年後見人等への送付先一括変更について
・5歳児健診について



上田 欣也議員

映画監督中山節夫氏の功績を未来に

問 本市出身の映画監督中山節夫氏のこれまでの歩みと作品の実績を収集、保存することが必要ではないか。

答 監督は多岐にわたる優れた作品を世に送り出し、令和7年の熊本県近代文化功労者顕彰を受賞され、本市でもその功績を高く評価している。今後、歴史資料館の常設展を視野に関連資料の収集を一層推進したい。

問 展示環境の整備により、全国の人が本市への関心・興味を持ってくれるきっかけになるのではないか。

答 今後は図書館も活用し、市民だけでなく、全国の方々に関心を持ってもらうきっかけとなることを期待している。

その他の質問事項 ・菊池恵楓園について
・地域公共交通について 他



中元 緑議員

日本語支援について

問 市内において長年、外国にルーツのある子どもへの日本語支援及び学習支援が行なわれているが、その取り組みの実態を把握しているのか伺う。

答 日本語支援の存在は承知しているが、活動内容や需要までは十分に把握できていない。今後、連携強化に向け実態把握に努める。

問 長年続くこのような支援に対して、場所提供や各機関との調整など後方支援する考えはあるか。

答 行政としては、学習場所の提供や関係機関との調整、相談窓口の周知など、既存の取り組みが継続しやすくなる支援策を関係課と連携し整理していく。

その他の質問事項 ・こどもの貧困対策について
・市民活動支援について



村上 香織議員

高齢者サロンに多世代の力を！！

問 高齢者サロンにおける若年スタッフの関わりの意義と、高齢者ボランティアとの協働による効果の認識は。

答 若年スタッフの参加は、活気や新たな企画をもたらし、高齢者の負担軽減に寄与する。活動の質が向上し、世代を超えたつながりが生まれ、地域の支え合いが強化されると考える。

問 若年スタッフの活動支援に関する市の方針と、助成制度の見

直しについて伺う。

答 助成制度は65歳以上が対象だが、若年層の関与も重要と認識している。担い手不足や高齢化を踏まえ、令和8年度の福祉計画策定時に、若年スタッフへの支援内容の見直しを検討する方針である。

その他の質問事項 ・地域コミュニティ構成の整理と統一について
・子どもの意見を反映した公園整備の進め方について



濱元 幸一郎議員

中学校も給食費無償化を！

問 小学校の給食費が新年度から無償化になるが、さらに中学校の給食費を無償化するために必要な予算額は。

答 1億7千7百万円が中学校の給食費を無償化した場合の予算額となる。

問 中学校も義務教育であり、小学校だけでなく、中学校の給食費も無償化して、保護者の負担を軽減してはいかがか。

答 今後については、国における中学校の給食費無償化に関する制度設計や方針の明確化を注視しながら、引き続き、持続可能な給食制度実施に努めていく。

その他の質問事項 ・地下水保全対策について



議員研修

令和8年1月30日(金)

第33回熊本県市議会議員研修会がオンラインで開催されました

『防災・危機管理の再点検、進化するBCP～災害に強い自治体の作り方～』と題して、防災システム研究所 所長 山村武彦氏による講演がありました。“市町村の防災・危機管理／再点検が求められる主な知見（事由）”や“BCP（Business Continuity Plan）からCCP（Community Continuity Plan）”など5つのテーマでご講演いただきました。熊本地震から丸10年、昨年8月の豪雨もありましたが、毎年のように日本各地で災害が発生しています。防災意識の再確認とアップデートをすることができ、今後の市民の皆さまの安全安心につなげていきます。

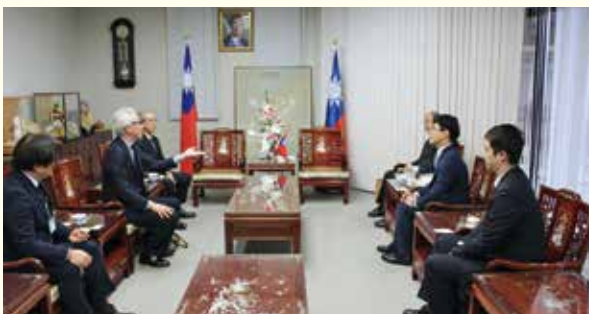


表敬訪問

令和8年2月5日(木)

台北駐福岡経済文化弁事処を訪問しました

青木照美議長・坂本武人半導体拠点整備促進特別委員長が台湾の総領事に当たる台北駐福岡経済文化弁事処ちんめいしゅんの陳銘俊ちんめいしゅん処長を表敬訪問し、今後の連携と交流について意見交換しました。



行政視察を受け入れました

視察日	議会名	視察の目的	議会対応者
12月23日(火)	静岡県沼津市議会 会派 市民クラブ 公明党	消防団員の啓発活動・機能別消防団制度の活用について	後藤祐二総務常任委員長
1月15日(木)	千葉県流山市議会 つくばエクスプレス沿線整備と 新川耕地・周辺特別委員会	企業誘致について及びそれに伴う まちの変化について	来海恵子副議長 辻藍文教経済常任委員長
1月21日(水)	徳島県阿南市議会 会派 あなん至誠会 公明党	議会だよりについて	辻大二郎広報調査特別委員長 中元緑広報調査特別副委員長 後藤祐二総務常任委員長 吉永健司議員
1月22日(木)	広島県廿日市市議会 広報広聴特別委員会	・市広報誌との差別化、発行スピードについて ・議会広報の編集について	辻大二郎広報調査特別委員長 中元緑広報調査特別副委員長 永清和寛広報調査特別委員 澤田雄二議員



徳島県阿南市



広島県廿日市

合志市の安全安心を守る15の柱



出初式

令和8年合志市消防出初式が、1月11日(日)に合志小学校グラウンドで行なわれました。合志市消防出初式は、消防団員の士気を高めるとともに、市民の皆さまに消防組織の活動への理解を深めていただくことを目的として、毎年行なわれています。

出初式では、一糸乱れぬ動きを見せる「分列行進」や、装備や規律を確認する「通常点検」、力強い「ラッパ隊演奏点検」のほか、かえでの森こども園の年長組による可愛らしくも凛々しい「幼年消防通常点検」などが実施されました。

今年も、式典終了後に上庄堤へ分列行進で移動し、15の分団による一斉放水が実施されました。

一斉放水の様子



合志市消防団員募集中

申込先・お問合せ先
熊本県合志市油2140番地
合志市役所 総務部 安全安心課
TEL 096-248-1555

消防団は地域防災の要で!!
一緒に活動して頂ける仲間を探しています!

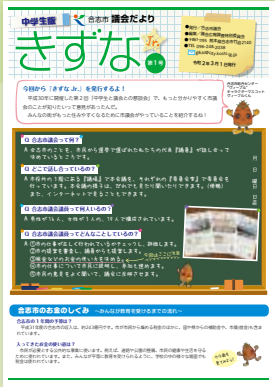
消防団とは
消防団は、自分たちの街は自分で守るという精神に基づく郷土愛あふれる消防組織です。
消防団員は、会社員・自営業・学生・主婦など本来の仕事や学業を持ちながら、火災や地震、水害などが発生すると災害対応のために、地域の安全確保のために活躍しています。

消防団の活動
～各種消防行事～
～災害時の対応～
～訓練・予備自衛隊～
その他活動は合志市消防団Xで更新中です。
強いて見てみてください!

消防団員の処遇

区分	消防団員(非常勤)の報酬	年間報酬
出動報酬	2,000円～8,000円(出動時間により支給)	36,500円～130,000円 報酬に応じて支給
費用弁償	1日2,200円	200,000円～ 年数・階級による
その他	公費に交通費・消防団員補給費に加入、活動中の怪けあり、多岐にわたる補助金の支給あり。	

議会広報紙これまで



議会広報紙は、第1号が平成18年4月に発行されました。当初は名称がありませんでしたが、第6号(平成19年7月発行)で名称を公募し、第7号(平成19年10月発行)から現在の『きずな』となりました。その後、第53号(平成31年3月発行)からはタブロイド判になり、第69号(令和5年5月発行)からポスティングによる全戸配布しております。また、令和2年からは、中学生に向けた『きずなJr.版』も発行し、議会のことや中学生との意見交換会でいただいた意見への動きなどを載せております。市民の皆さまへ議会のことがより伝わるように議会広報紙も進化しています。



賛 否 一 覧 表

※ 議決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり 可=可決 承=承認 同=同意 適=適任 不=不採択
※ 採決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり ○=賛成 ●=反対 欠=欠席 △=退席 長=議長 (議長は、議決には加わりません。可否同数となったときは裁決権を行使します。)

令和8年第1回臨時会審議結果（1月13日）

議 案 等 の 名 称				議 員 名																			賛 成	反 対		
				議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18			19	
				議決結果	中元 緑	村上 香織	大塚 薫	永清 和寛	辻 藍	辻 大二郎	後藤 祐二	犬童 正洋	澤田 雄二	齋藤 正昭	青山 隆幸	西郷 隆博	後藤 修一	濱元幸一郎	上田 欣也	坂本 武人	吉永 健司	来海 恵子	青木 照美			
予算	議 1	令和7年度合志市一般会計補正予算（第9号）			可	全会一致																		長	18	0

令和8年第1回定例会審議結果（1月29日～2月25日）

市長提出議案	条例	議2	合志市犯罪被害者等支援条例	可	全会一致																長	18	0						
		議3	合志市地域振興基金条例	可	全会一致																長	18	0						
		議4	合志市企業版ふるさと納税地方創生基金条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	長	17	1				
		議5	合志市特別職等の非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可	全会一致																長	18	0						
		議6	合志市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可	全会一致																長	18	0						
		議7	合志市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可	全会一致																長	18	0						
		議8	合志市税条例の一部を改正する条例	可	全会一致																長	18	0						
		議9	合志市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	可	全会一致																長	18	0						
		議10	合志市放課後児童クラブ施設条例の一部を改正する条例	可	全会一致																長	18	0						
		議11	合志市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	長	17	1			
		議12	合志市民グラウンド条例の一部を改正する条例	可	全会一致																長	18	0						
		議13	合志市立小・中学校施設使用料徴収条例の一部を改正する条例	可	全会一致																長	18	0						
		議14	合志市立学校運動場夜間照明施設条例の一部を改正する条例	可	全会一致																長	18	0						
		予算	承1	(専決処分) 令和7年度合志市一般会計補正予算（第10号）	承	全会一致																長	18	0					
	議15		令和7年度合志市一般会計補正予算（第11号）	可	全会一致																長	18	0						
	議16		令和7年度合志市介護保険特別会計補正予算（第4号）	可	全会一致																長	18	0						
	議17		令和7年度合志市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	可	全会一致																長	18	0						
	議18		令和7年度合志市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	可	全会一致																長	18	0						
	議19		令和7年度合志市用地先行取得事業特別会計補正予算（第1号）	可	全会一致																長	18	0						
	議20		令和7年度合志市水道事業会計補正予算（第5号）	可	全会一致																長	18	0						
	議21		令和7年度合志市工業用水道事業会計補正予算（第4号）	可	全会一致																長	18	0						
	議22		令和7年度合志市下水道事業会計補正予算（第5号）	可	全会一致																長	18	0						
	議23		令和8年度合志市一般会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	長	17	1			
	議24		令和8年度合志市介護保険特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	長	17	1		
	議25		令和8年度合志市国民健康保険特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	長	17	1	
	議26		令和8年度合志市後期高齢者医療特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	長	17	1
	議27		令和8年度合志市工業団地整備事業特別会計予算	可	全会一致																長	18	0						
	議28		令和8年度合志市用地先行取得事業特別会計予算	可	全会一致																長	18	0						
	議29		令和8年度合志市水道事業会計予算	可	全会一致																長	18	0						
	議30		令和8年度合志市工業用水道事業会計予算	可	全会一致																長	18	0						
	議31		令和8年度合志市下水道事業会計予算	可	全会一致																長	18	0						
	議36		令和7年度合志市一般会計補正予算（第12号）	可	全会一致																長	18	0						
	その他	議32	合志市道路線の認定	可	全会一致																長	18	0						
		議33	財産の処分	可	全会一致																長	18	0						
		議34	権利の放棄	可	全会一致																長	18	0						
		議35	熊本広域行政不服審査会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び熊本広域行政不服審査会共同設置規約の一部変更	可	全会一致																長	18	0						

令和8年第2回定例会日程（予定）

月	日	曜	会議名	主な内容
6	1	月	本会議	市長提出議案上程及び提案理由説明
	2	火	本会議	一般質問
	3	水		
	4	木		
	8	月	本会議	質疑、各常任委員会付託
			予算決算常任委員会	質疑、各分科会設置・分担付託
	9	火	常任委員会・分科会	付託事件の審査
	10	水		
	15	月	予算決算常任委員会	分科会長報告、自由討議
	19	金	予算決算常任委員会	総括質疑、討論、表決
	23	火	本会議	委員会審査報告（質疑、討論、採決） 追加議案（上程、質疑、討論、採決）

議会広報調査特別委員会

委員長 辻 大二郎 副委員長 中元 緑
委員 辻 藍 委員 永清 和寛
委員 大塚 薫 委員 村上 香織

インターネットで議会の様子をぜひご覧下さい。

合志市議会

検索



ホームページアドレス

https://www.city.koshi.lg.jp/gikai/default.html

編集後記

平素は、合志市議会だより「きずな」をご覧いただき、誠にありがとうございます。
私達、議会広報調査特別委員会は「広報」として「きずな」の編集作業を行なっておりますが、もう一つの仕事として「調査」を行なっております。例えば、市民に分かりやすい紙面にするために、先進的な取り組みを行なっている議会・賞を取っている議会への視察や、出版社の方をお呼びしての研修を実施しています。他にも、市民の意識調査として、市民まつりでのアンケート調査や、市内中学生との意見交換会などを行なっています。昨年度は、十一月二日の市民まつりにて「合志市は住みよいまちですか？」と題しアンケートを実施しました。年代別の意見が聞けて、今後のまちづくりや、現在行なっている施策でも周知できていない部分を知ることができました。また、嬉しいことに「十一月二日」には、一昨年に私達が視察研修させていただいた広島県廿日市市議会広報広聴特別委員会の皆様が今度は本市を訪問され、当委員会が採用しているタブロイド紙面や、一昨年度に実施した、中学生との意見交換会について研修されました。当委員会が行なっている中学生との意見交換会は、各校の生徒会を中心に参加いただき、生徒同士がまちづくりについて意見を出し合うスタイルですが、今年度は生徒会に頼りすぎない方法はないかを模索している段階です。様々な取り組みを行なっている議会がありますので、しっかりと勉強させていただき、本市に合ったスタイルで実施したいと考えております。内容がまとまり次第、発信致しますので、どうぞ宜しくお願い致します。
(永清和寛)